

**第2回筑波・ボン医学交流訪問及びボン大学日本フォーラムを開催しました。**

ボン大学医学部長パウワー教授による発表

2013年2月19日（火）、20日（水）に、筑波大学医学医療系松村明教授（ボン事務所所長）をはじめとする医学医療系の教員等14名（教授3名、准教授1名、講師2名他）がボン大学医学部を訪問しました。

今回の訪問は、2011年11月に筑波大学で開催されたボン・筑波医学シンポジウムに引き続き、ボン大学医学部との研究・臨床分野における交流を推進する目的で行われたものです。

交流訪問の1日目は、ボン大学生命頭脳研究所にて、筑波側ボン大学側双方、計16人の研究者が各自の研究内容について発表し、活発な議論が交わされました。

2日目には、脳神経外科など専門分野ごとに、ボン大学医学部の各診療科を訪問し、手術を見学するなど充実した研究交流及び臨床実習交流が行われました。

右の写真は、ボン大学側からの質問に答える筑波大学田中教授。



また、2月19日（火）にはボン大学生命医学科学研究所にて、ボン大学日本フォーラムを開催しました。医学分野に限らず、ボン大学全学部から日本に関心のあるドイツ人研究者及びボン大学に滞在している日本人研究者約50名が参加しました。

松村教授の講演を中心に、日独学術交流について、活発な議論が行われました。左の写真は、松村教授による筑波大学紹介発表。

